

学士課程教育の構築に向けて

中央教育審議会大学分科会制度・教育部会「審議のまとめ」の骨子

<基本的な考え方>

「知識基盤社会」における大学教育の量的拡大（ユニバーサル段階）を積極的に受け止めつつ、社会からの信頼に応え、国際通用性を備えた学士課程教育の構築を目指す。
⇒ 大学の自主性・自律性を尊重した多角的支援の飛躍的充実が必要
「競争」、「多様性」の追求 + 大学間「協同」、教育の質の「標準性」

各大学に対し、明確な「三つの方針」（①学位授与、②教育課程編成・実施、③入学者受入れ）に貫かれた教学経営、P D C Aサイクルの確立を要請。

<具体的な方策（主に国による支援・取組）の例>

1 我が国の学位の水準の維持・向上に向けた枠組みづくり

- ・ 我が国の学士号が保証する能力の明確化
 ※ 各専攻分野を通じて培う「学士力」の参考指針を提示
- ・ 分野別の質保証の枠組みづくり（「学習成果」や到達目標の設定、コア・カリキュラム、教材の研究開発などに関し、日本学術会議と連携して対応）
- ・ 「学習成果」の評価に関するO E C Dの国際調査への対応

2 教育内容・方法等の優れた実践を行う大学に対する重点的支援

- ・ 「学習成果」の目標を明確に掲げ、その達成に向けた教育課程の体系化・構造化
- ・ 学習時間の確保など単位制度の実質化に向けた教育方法の点検・見直し
- ・ 学習意欲を高める双方向型の教育方法、体験活動の充実
- ・ 出口管理の強化、多面的な成績評価（G P A、学習ポートフォリオ、外部評価等）

3 高等学校との接続の改善

- ・ 「大学全入」時代を迎える中での選抜方法の多様化（A O・推薦入試等）の検証
- ・ 大学における入学者受入れ方針の具体化・明確化に向けた取組の支援
- ・ 高等学校段階の学力を客観的に把握し、高校の指導改善、大学入試、大学の初年次教育に広く活用する仕組みの検討（「高大接続テスト（仮称）」の関係者間の研究の促進など）
- ・ 大学における初年次教育等の充実に向けた支援

4 教職員の職能開発の推進

- ・ 全大学での充実したF Dの実施と実質化に向けた体制整備（専門的人材の配置等）の支援
- ・ F Dプログラムや教材等の開発の支援
- ・ 大学における優れたF D・S D活動への支援、大学間ネットワーク化の促進
- ・ 教員の教育業績評価や大学院での大学教員の養成、他大学でのインターンの推進

5 質保証システムの整備・確立

- ・ 教員組織、施設・設備等の在り方の見直しの検討（大学設置基準等の見直し）
- ・ 第三者評価制度の確立と分野別評価導入に向けた環境整備
- ・ 大学別の情報データベースの構築

6 その他

- ・ 経済的に恵まれない優秀な学生に対する支援（T A等の活用）
- ・ 大学に対する寄附の税制上の優遇
- ・ 企業の採用活動早期化の是正への期待（各企業での規範の確立・遵守）